

国総施第121号
国総建第188号
国総振第99号
平成18年10月4日

社団法人
日本建設機械化協会 会長 殿

国土交通省総合政策局 建設施工企画課長



国土交通省総合政策局 建設業課長



国土交通省総合政策局 建設振興課長



リコールの届け出に伴う建設機械の事故防止について（8月分）

今般、国土交通省に対し、下記のリコールの届出がなされたところであるが、建設作業現場における当該建設機械の使用に際しては、事故防止の観点から貴団体傘下の会員各社に対し周知されたい。

記

1. 届 出 日 別紙のとおり
2. 届 出 者 〃
3. 建 設 機 械 名 〃
4. 通 称 名 〃
5. 型 式 〃
6. 不 具 合 の 部 位 〃
7. 内 容 〃

※国土交通省のホームページに「リコール・改善対策の届け出」があったものを掲載しております。
アドレスは下記のとおりです。

http://www.mlit.go.jp/jidosha/recall/recall106/recall_.html

建設機械に係わるリコール届出一覧 (期間:平成18年8月分)

番号	届出日	届出者	建設機械名	通称名	型式	不具合の部位	リコール対象台数
1	平成18年8月2日	小松フォークリフト株式会社	フォークリフト	—	M200、M201、M202、M203、M204、M205、M206、M207、M209、M210、M211、M212、M213、SM201、SM202	電気装置(配線)	1338台
2	平成18年8月3日	株式会社小松製作所	シヨベルローダ	WA150-5、WA200-5、WA270-5、WA320-5、WA12-5	W108、SB-W108、W109、SC-W109、W104、SC-W104、W105、SC-W105、SB-WR003	動力伝達装置(静油圧変速機走行モータ)	765台
3	平成18年8月3日	新キャタピラ—三菱株式会社	シヨベルローダ	910G II	B9X	動力伝達装置(静油圧変速機走行モータ)	1459台

※詳細は別添の「リコール届出一覧表」を参照して下さい。

連絡先	:自動車交通局技術安全部審査課リコール対策室
TEL	:03-5253-8111 内線42353
アドレス	:http://www.mlit.go.jp

リコール届出一覧表

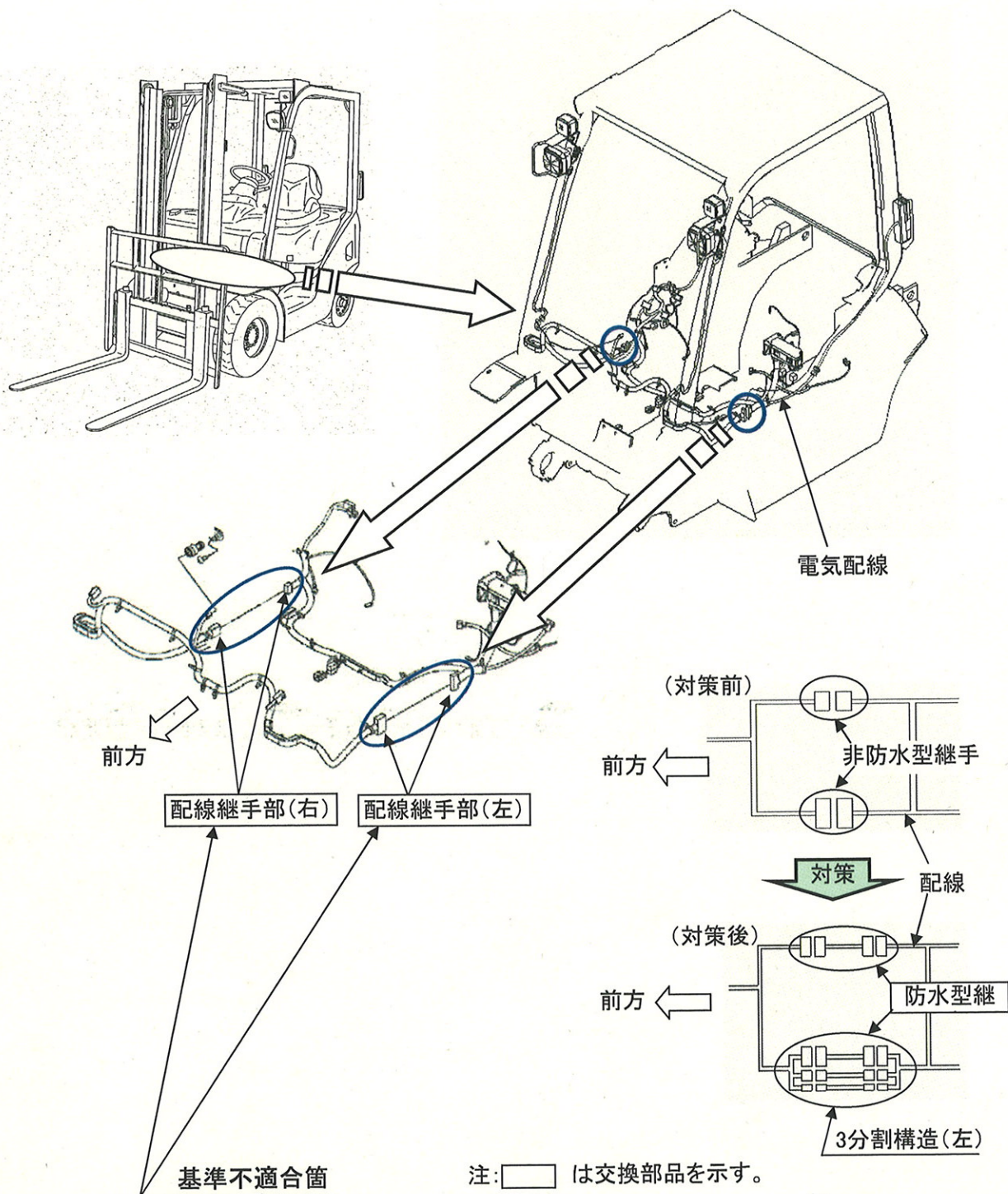
リコール届出日：平成18年8月2日

リコール届出番号	1705	リコール開始日	平成18年8月3日
届出者の氏名又は名称	小松フォークリフト株式会社 代表取締役社長 渋谷 武男		問合せ先:品質保証本部 企画総括グループ TEL :0285-28-8750
不具合の部位(部品名)	電気装置(配線)		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	車体に取付けられている電気配線の継手部の防水構造が不適切なため、洗車時等に当該部が直接被水した場合、内部に水が浸入することがある。そのため、そのまま使用を続けると、継手部内部の電気接点が腐食して、電気機器が正常に作動せず、最悪の場合、走行不能などの不具合が起こるおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、当該電気配線の継手部一式を対策品と交換する。		
不具合件数	1件	事故の有無	無し
発見の動機	市場からの情報による		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者へ周知させるための措置	①使用者:直接訪問し通知する。 ②分解整備事業者:全使用者を把握しているため、周知のための措置はとらない。 ③対策完了車両は、ステッカ(1705)をダッシュボード前面に取付けてある社銘板の上方に貼り付ける。		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号(シリアル番号)の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
小松	M200	—	M200-570014 ~ M200-583195 平成14年7月5日~平成17年1月5日	239台	
小松	M201	—	M201-573194~M201-580508 平成15年2月5日~平成16年7月22日	6台	
小松	M202	—	M202-570508 ~ M202-582960 平成14年8月9日~平成16年12月20日	69台	
小松	M203	—	M203-570452 ~ M203-581045 平成14年8月20日~平成16年8月27日	15台	
小松	M204	—	M204-570065 ~ M204-583047 平成14年7月5日~平成16年12月23日	37台	
小松	M205	—	M205-571393 ~ M205-583024 平成14年9月27日~平成16年12月17日	11台	
小松	M206	—	M206-570702 ~ M206-576511 平成14年8月31日~平成15年9月29日	4台	
小松	M207	—	M207-570067 ~ M207-583111 平成14年7月4日~平成16年12月23日	14台	
小松	M209	—	M209-640004 ~ M209-646811 平成14年7月26日~平成17年1月6日	747台	
小松	M210	—	M210-640385 ~ M210-646363 平成14年9月3日~平成16年11月24日	16台	
小松	M211	—	M211-644216 ~ M211-646597 平成16年2月9日~平成16年12月17日	5台	
小松	M212	—	M212-640009 ~ M212-646540 平成14年8月5日~平成16年12月15日	65台	
小松	M213	—	M213-640429 ~ M213-64600 平成14年9月10日~平成16年12月16日	20台	
小松	SM201	—	SM201-572099 ~ SM201-582080 平成14年11月19日~平成16年10月22日	20台	
小松	SM202	—	SM202-570202 ~ SM202-582947 平成14年7月13日~平成16年12月14日	70台	
	(計15型式)	—	(製作期間の全体の範囲) (平成14年7月4日~平成17年1月6日)	(計1338台)	

【備考】本件は平成17年11月21日付け「届出番号1562」にてリコール届出を行ったものですが、対象車の範囲を拡げて新たに届出するものです。

改善箇所説明図



車体に取り付けられている電気配線の継手部の防水構造が不適切なため、洗車時等に当該部が直接被水した場合、内部に水が浸入することがある。そのため、そのまま使用を続けると、継手部内部の電気接点が腐食して、電気機器が正常に作動せず、最悪の場合、走行不能などの不具合が起こるおそれがある。

改善の内容

全車両、当該電気配線の継手部一式を対策品と交換する。

識別

左側配線継手部が3分割構造となるので、外観から容易に識別できる。

リコール対象車の主要諸元

車名	型式	通称名	種別・用途	車体の形状	原動機の型式 (総排気量(L))	備考
小松	M200	—	小型特殊	フォークリフト	ニッサン H15 (1.486)	
小松	M201	—	大型特殊	フォークリフト	ニッサン H20 (1.982)	
小松	M202	—	大型特殊	フォークリフト	ヤンマー 4D94E (2.775)	
小松	M203	—	大型特殊	フォークリフト	ニッサン H25 (2.472)	
小松	M204	—	大型特殊	フォークリフト	ヤンマー 4D98E (3.318)	
小松	M205	—	小型特殊	フォークリフト	ニッサン H20 (1.982)	
小松	M206	—	小型特殊	フォークリフト	ニッサン H25 (2.472)	
小松	M207	—	小型特殊	フォークリフト	ヤンマー 4D94E (2.775)	
小松	M209	—	小型特殊	フォークリフト	ニッサン H15 (1.486)	
小松	M210	—	小型特殊	フォークリフト	ニッサン H15 (1.486)	
小松	M211	—	大型特殊	フォークリフト	ニッサン H20 (1.982)	
小松	M212	—	小型特殊	フォークリフト	いすゞ 4LB1 (1.499)	
小松	M213	—	大型特殊	フォークリフト	ヤンマー 4D92E (2.659)	
小松	SM201	—	小型特殊	フォークリフト	ニッサン H20 (1.982)	
小松	SM202	—	小型特殊	フォークリフト	ヤンマー 4D94E (2.775)	

連絡先：自動車交通局技術安全部審査課
 リコール対策室
 TEL：03-5253-8111 内線 42-353
 URL：http://www.mlit.go.jp

リコール届出一覧表

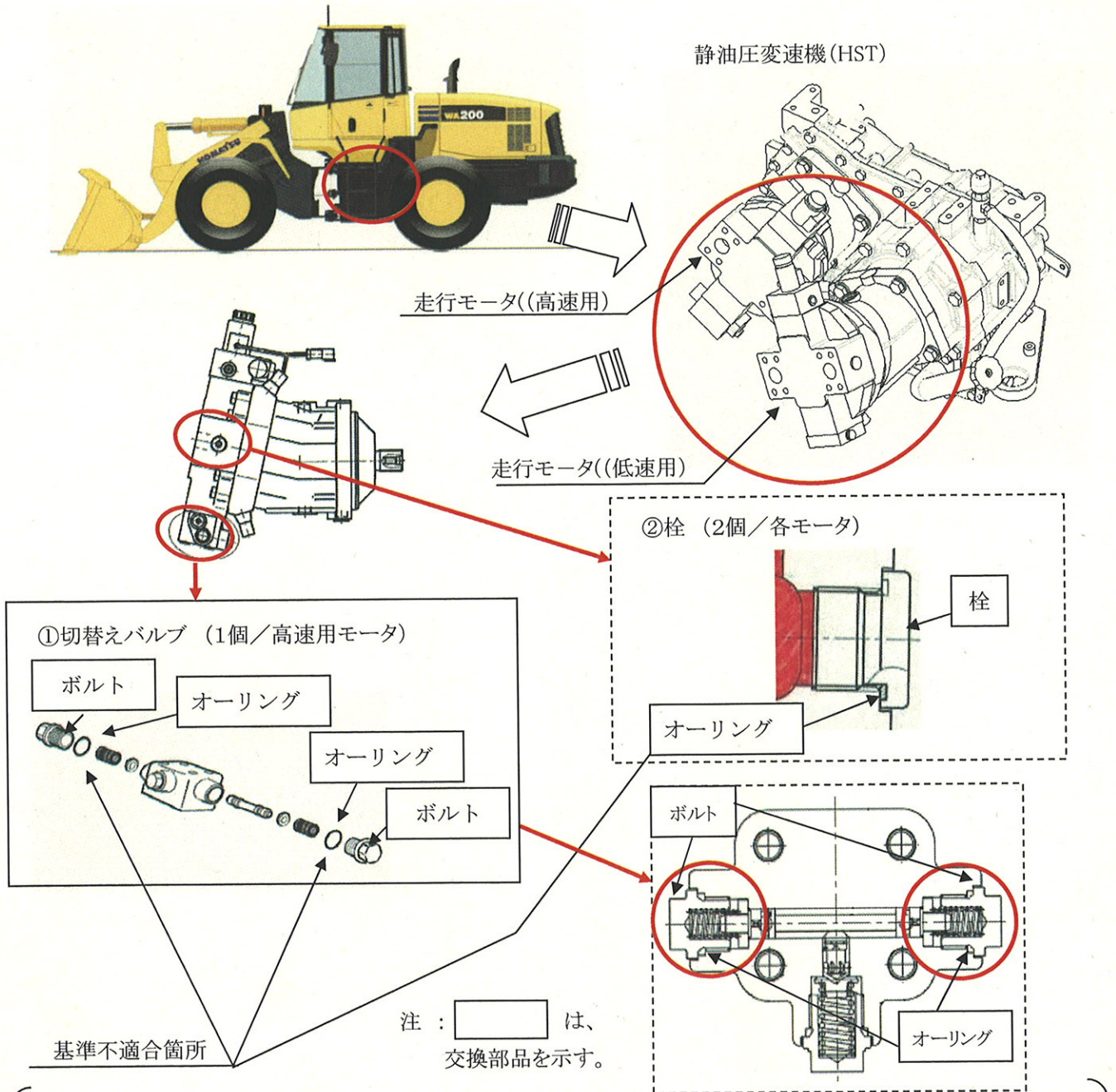
リコール届出日：平成 18年 8月 3日

リコール届出番号	1709	リコール開始日	平成 18年 8月 3日
届出者の氏名又は名称	株式会社 小松製作所 代表取締役社長 坂根正弘 製作者名：株式会社 小松製作所 問い合わせ先：品質保証部 03-5561-2686		
不適合の部位(部品名)	動力伝達装置(静油圧変速機走行モータ)		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	① 静油圧変速機の走行モータの切替えバルブにおいて、左右のボルトの締付けトルクが不適切なため、除雪作業時等の作動油が高圧となる条件下で繰り返し使用するとボルトが緩むものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、オーリングが破損して作動油が流出し、最悪の場合、走行不能になるおそれがある。 ② 静油圧変速機の走行モータにおいて、油圧回路の加工穴を塞ぐ栓の締付けトルクが不適切なため、除雪作業時等の作動油が高圧となる条件下で繰り返し使用すると栓が緩むものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、オーリングが破損して作動油が流出し、最悪の場合、走行不能になるおそれがある。		
改善措置の内容	① 全車両、ボルト及びオーリングを新品と交換し、ボルトを適切に締付ける。 ② 全車両、栓及びオーリングを新品と交換し、栓を適切に締付ける。		
不具合件数	① 10件 ② 55件	事故の有無	①及び②ともに無し
発見の動機	市場からの情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・ 使用者には、直接電話またはダイレクトメール等により連絡する。 ・ 自動車分解整備事業者には、使用者を把握しているので周知のための措置は特にとらない。 ・ 対策完了車については、ステッカ(No.1709)をキャブ内側の後部窓左下に貼り付ける。 		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲 及び製作期間	リコール対象 車の台数	備考
コマツ	W108	WA150-5	W108-65001 ~ W108-65080 平成15年9月13日~平成16年3月11日	51	②
			W108-65081 ~ W108-65105 平成16年3月11日~平成16年5月26日	7	①及び②
	SB-W108		W108-71001 ~ W108-73061 平成16年5月31日~平成18年2月2日	138	①及び②
			W108-73062 ~ W108-73141 平成18年2月2日~平成18年3月7日	9	②
	W109	WA200-5	W109-65001 ~ W109-65277 平成15年7月2日~平成16年3月24日	69	②
			W109-65278 ~ W109-65432 平成16年3月26日~平成16年8月13日	13	①及び②
	SC-W109		W109-65501 ~ W109-68077 平成16年7月8日~平成18年2月8日	159	①及び②
			W109-68078 ~ W109-68170 平成18年2月8日~平成18年3月22日	6	②
	W104	WA270-5	W104-70001 ~ W104-70198 平成14年9月24日~平成16年3月2日	27	②
			W104-70199 ~ W104-70457 平成16年3月2日~平成16年8月10日	10	①及び②
	SC-W104		W104-70501 ~ W104-72052 平成16年8月24日~平成18年2月6日	89	①及び②
			W104-72053 ~ W104-72104 平成18年2月6日~平成18年3月24日	2	②
	W105	WA320-5	W105-60001 ~ W105-60204 平成15年3月17日~平成16年4月15日	56	②
			W105-60205 ~ W105-60332 平成16年4月20日~平成16年8月13日	14	①及び②
SC-W105	W105-60501 ~ W105-61025 平成16年8月25日~平成18年1月19日		103	①及び②	
	W105-61026 ~ W105-61111 平成18年1月19日~平成18年3月22日		7	②	
SB-WR003	WR12-5	WR003-55001 ~ WR003-55108 平成17年4月4日~平成18年5月10日	5	①及び②	
	(計9型式)	(計5車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成14年9月24日~平成18年5月10日	(計765台)	①及び②:538台 ② :227台

本届出の①については平成17年11月29日付け「届出番号1566」でリコール届出したものであるが、対策措置が不足していたため、再度対策を行うものである。

改善箇所説明図 (例:W109)



- ① 静油圧変速機の走行モータの切替バルブにおいて、左右のボルトの締付けトルクが不適切なため、除雪作業時等の作動油が高圧となる条件下で繰り返し使用するとボルトが緩むものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、オーリングが破損して作動油が流出し、最悪の場合、走行不能になるおそれがある。
- ② 静油圧変速機の走行モータにおいて、油圧回路の加工穴を塞ぐ栓の締付けトルクが不適切なため、除雪作業時等の作動油が高圧となる条件下で繰り返し使用すると栓が緩むものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、オーリングが破損して作動油が流出し、最悪の場合、走行不能になるおそれがある。

改善措置の内容：

- ① 全車両、ボルト及びオーリングを新品と交換し、ボルトを適切に締付ける。
- ② 全車両、栓及びオーリングを新品と交換し、栓を適切に締付ける。

識別： 栓の端部に白ペンキを塗布し、識別する。

リコール対象車の主要諸元

車名	型式	通称名	種別・用途	車体の形状	原動機の型式 (総排気量 (cc))	備考
コマツ	W108	WA150-5	大型特殊 建設機械	ショベル・ローダ	4D102 (3,922)	
	SB-W108					
	SB-WR003	WR12-5				
	W109	WA200-5				6D102 (5,883)
	SC-W109					
	W104	WA270-5				
	SC-W104					
	W105	WA320-5				
SC-W105						

連絡先：自動車交通局技術安全部審査課
 リコール対策室
 TEL：03-5253-8111 内線 42-353
 URL：http://www.mlit.go.jp

リコール届出一覧表

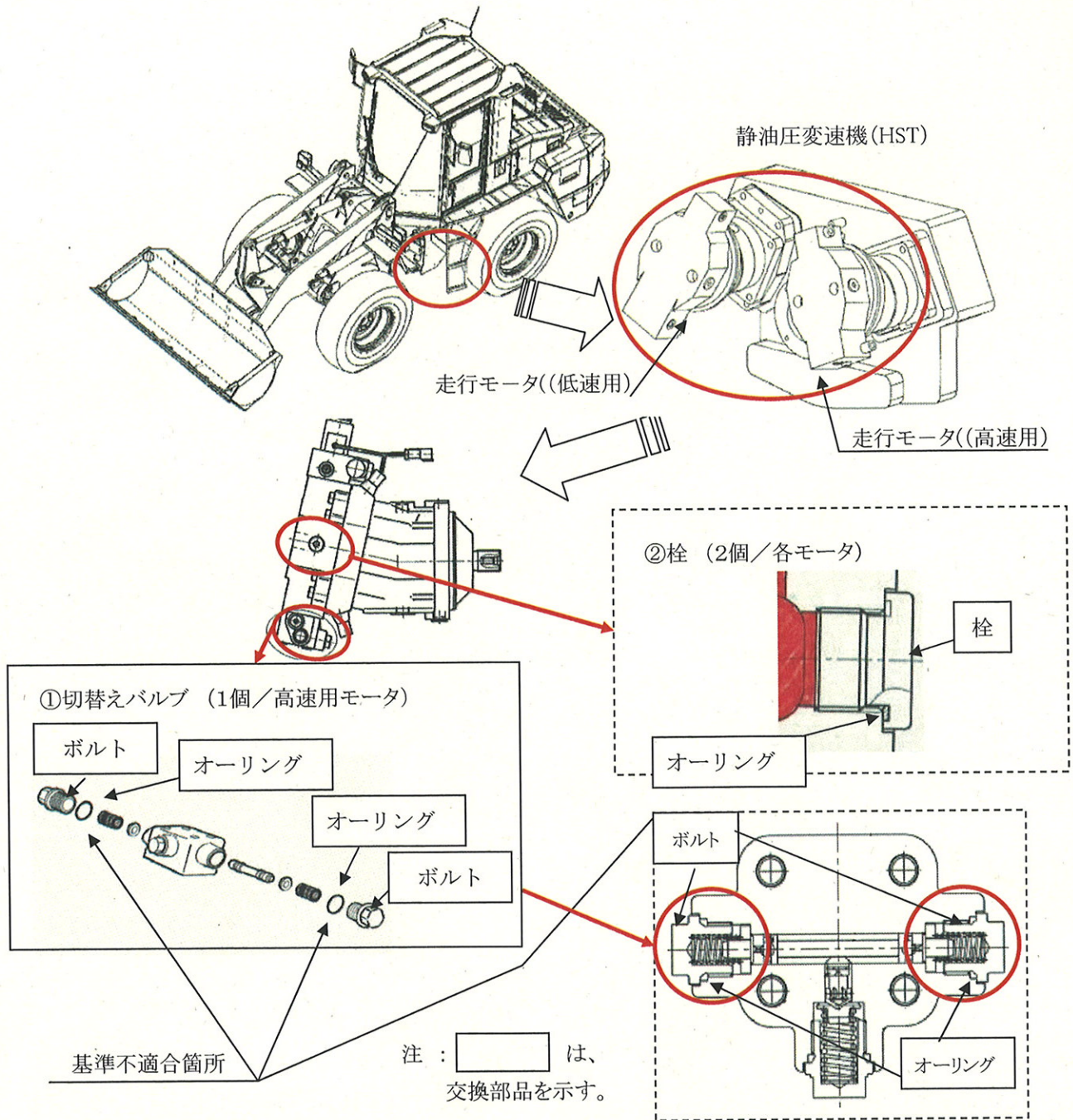
リコール届出日：平成 18年 8月 3日

リコール届出番号	1710	リコール開始日	平成 18年 8月 4日
届出者の氏名又は名称	新キャタピラー三菱株式会社 代表取締役 広瀬 正典 製作国：日本 製作者名：新キャタピラー三菱株式会社 問合せ先：相模カスタマーサポート部 TEL:042(764)8662		
不適合の部位(部品名)	動力伝達装置(静油圧変速機走行モータ)		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	① 静油圧変速機の走行モータの切替えバルブにおいて、左右のボルトの締付けトルクが不適切なため、除雪作業時等の作動油が高圧となる条件下で繰り返し使用するとボルトが緩むものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、オーリングが破損して作動油が流出し、最悪の場合、走行不能になるおそれがある。 ② 静油圧変速機の走行モータにおいて、油圧回路の加工穴を塞ぐ栓の締付けトルクが不適切なため、除雪作業時等の作動油が高圧となる条件下で繰り返し使用すると栓が緩むものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、オーリングが破損して作動油が流出し、最悪の場合、走行不能になるおそれがある。		
改善措置の内容	① 全車両、ボルト及びオーリングを新品と交換し、ボルトを適切なトルクで締付ける。 ② 全車両、栓及びオーリングを新品と交換し、栓を適切なトルクで締付ける。		
不具合件数	① 3件 ② 8件	事故の有無	①及び②ともに無し
発見の動機	市場からの情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	・使用者：使用者を全て把握しているので、ダイレクトメール若しくは電話で通知する。 ・自動車分解整備事業者：使用者を全て把握しているので、周知させるための措置はとらない。 ・改善処置済み車両には、キャブ後面ガラス左下に No.1710のステッカーを貼付する。		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号(シリアル番号)の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
キャタピラー	B9X	910GII	①B9X00925～B9X02014 平成16年2月16日～平成18年2月8日 ②B9X00150～B9X02073 平成13年8月31日～平成18年3月29日	①869台 ②1459台	
	(計1型式)	(計1車種)	(製作期間全体の範囲) 平成13年8月31日～平成18年3月29日	(計1459台)	

本届出の①については平成17年11月29日付け「届出番号1568」でリコール届出したものであるが、対策措置が不足していたため、再度対策を行うものである。

改善箇所説明図 (910G II)



- ① 静油圧変速機の走行モータの切替えバルブにおいて、左右のボルトの締付けトルクが不適切なため、除雪作業時等の作動油が高圧となる条件下で繰り返し使用するとボルトが緩むものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、オーリングが破損して作動油が流出し、最悪の場合、走行不能になるおそれがある。
- ② 静油圧変速機の走行モータにおいて、油圧回路の加工穴を塞ぐ栓の締付けトルクが不適切なため、除雪作業時等の作動油が高圧となる条件下で繰り返し使用すると栓が緩むものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、オーリングが破損して作動油が流出し、最悪の場合、走行不能になるおそれがある。

改善措置の内容：

- ① 車両、ボルト及びオーリングを新品と交換し、ボルトを適切なトルクで締付ける。
- ② 全車両、栓及びオーリングを新品と交換し、栓を適切なトルクで締付ける。

識別： 栓の端部に白ペンキを塗布し、識別する。

リコール対象車の主要諸元

車名	型式	通称名	種別・用途	車体の形状	原動機の型式 (総排気量(cc))	備考
キャタピラー	B9X	910G11	大型特殊・ 建設機械	ショベルローダ	CAT 3064-E3T (4,249)	